

平和と暮らしを守る

水谷 修

おさむ

です

日本共産党府議会議員

現在 京都府議（2 期目）、
政策環境建設常任委員、宇
治市農業委員会推進委員。



42年前のこと、中曽根内閣が行革と軍拡を推進していた時だった。宇治市議選に出た私は「平和と暮らしを守る」と宣言したのだった。

以来、平和と暮らしを巡る攻防が続いてきた。いま再び、このスローガンを掲げることにしました。

自衛隊基地からPFAS汚染？ 立ち入り調査を！

健康被害を未然に防止するための予防原則の立場で、PFAS規制強化に転換するべきです。

宇治駐屯地の水槽水で870万ng/ℓ（暫定目標値

50ng/ℓの17万4千倍）を検出し、隣接の民間井戸でも基準値を超過し、市水道でも49ng/ℓを検出しています。

さらに、祝園弾薬庫に隣接する精華町柘榴浄水場の原水で60ng/ℓと基準値超過のため取水が中止されています。

水谷は一般質問で、自衛隊基地に立ち入って調査すべきと追及しましたが、府当局は「聞き取り調査の結果、立ち入り調査はしない」と拒否しています。漏出元を明らかにし対策をすべきです。



京丹後市で「PFASと米軍・自衛隊について」の講演

京都の基地強化ストップ！ 弾薬庫増強 許すな！

国が「敵基地攻撃能力」を持つため、最新鋭のステルス護衛艦「やなぎ」「あがの」の配備や、所属するイージス艦2隻への「トマホーク」の搭載、弾薬庫3棟の整備、報復攻撃を想定した舞鶴総監部の地下化が計画されています。舞鶴を再び軍事拠点、戦場にするものです。

また、祝園分屯地に今年度102億円で火薬庫を8棟増設し、「一二式地对艦誘導弾能力向上型」やトマホークを備蓄しようとしています。

国は宇治市、京丹後市、京都市

南区、精華町、舞鶴市、福知山市を対象とした自衛隊基地強靱化マスタープラン作成と強靱化をすすめています。基地周辺が戦場になることを前提にしたものであり、中止するべきです。

しかし府は「国の安全保障に関わる国の専権事項」と拒否しました。

祝園弾薬庫の住民説明会は「具体的な工事内容について説明会の開催を検討していく」との自衛隊の考えが示されました。水谷は計画時に、説明会をすべきと強く求めています。



舞鶴の弾薬庫を調査



舞鶴に配備されたステルス護衛艦やなぎ

水谷修 SNS など



mail



YouTube